



ぴんぴんコロリ願望

—長寿社会の死生観—

参加無料
申込不要

平成27年簡易生命表によると、日本人男性の平均寿命は80.79年、女性は87.05年となり、男女ともに人生80年時代の長寿社会が実現しました。

不老長寿は誰もが望むことですが、高齢になると病気になりがちだったり、家計の見通しに不安を感じたりして、日常生活が心穏やかではなくなることもあります。このシンポジウムでは、長寿社会をどのように生き抜けばよいかについて考えます。

講演1 ピンピンコロリは健康長寿か？
地域包括ケア時代の新しい健康観
講師/成蹊大学文学部准教授 渡邊大輔 氏

講演2 死を生きる
～最期をどこで迎えますか？～
講師/愛知国際病院看護部ホスピス師長 緩和ケア認定看護師 成田昌代 氏

講演3 老化と発達から
ぴんぴんコロリ願望を考える
講師/桜美林大学大学院老年学研究科教授 長田久雄 氏

討論 パネリスト / 渡邊大輔氏、成田昌代氏、長田久雄氏
コーディネーター / 武田圭太(総合郷土研究所所員、文学部教授)

日時 2017年
11.18 Sat
13:30 ▶ 16:30
愛知大学豊橋校舎
本館5階 第3・4会議室



愛知大学総合郷土研究所
〒441-8522 豊橋市町畑町1-1
TEL 0532-47-4160
Mail kyodoken@ml.aichi-u.ac.jp

